

平成 30 年 3 月 7 日

会員の皆様へ

(一社) 栃木県病院薬剤師会  
会長 須藤 俊明

### プレアボイド報告について

既に日病薬雑誌 2 月号 (Vol. 54 No. 2 2018) 中の医薬情報委員会プレアボイド報告小委員会の活動報告をお読みになった方もいらっしゃると思います。その報告内容の中にある「平成 28 年度都道府県別報告数」は、全国で 50,132 件あったのに対し、栃木県からは僅か 8 件でした。ちなみに最多報告数の岡山県は 7,743 件です。もちろん栃木県は 47 都道府県中最下位であり、残念です。

プレアボイド報告は、副作用回避に向けた病院薬剤師の取り組みとして平成 11 年から継続している日病薬の事業であり、近年は公的にもその重要性が認められていることから、当会においても積極的に参加、協力すべき事業です。

報告にあたっては、薬学的介入の内容により、「副作用の重篤化回避 (様式 1)」「副作用の未然回避 (様式 2)」「薬物治療効果の向上 (様式 3)」がありますが、いずれも日病薬のホームページから報告できるようになっております。

副作用の回避や薬物治療の向上を図ることは、薬剤師の職能として社会的にも求められております。会員の皆様におかれましては、日常業務で遭遇した報告に値する事例を、一つでも多くご報告いただけますようお願いいたします。